



クイック スタート ガイド



Cisco 350 シリーズ マネージド スイッチ

はじめに

このたびは、Cisco 350 シリーズ マネージド スイッチをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このスイッチは、標準のレイヤ 2 および 3 スイッチとしてすぐに動作できるように設計されています。デフォルト設定を使用すると、電源投入後、スイッチは接続デバイス間でパケットを転送します。

このガイドでは、スイッチのレイアウトを紹介し、お客様のネットワークにこのスイッチを導入する方法について説明します。詳細については、www.cisco.com/go/350switches を参照してください。

パッケージの内容物

- Cisco 350 シリーズ マネージド スイッチ
- 電源コード
- ラックマウント キットおよびゴム製の脚
- SF352-08、SF352-08MP、SF352-08P、SG350-10、SG350-10P、SG350-10MP、または SG350-10SFP 用壁面取り付け用パッケージ
- DB-9 to RJ45 シリアル ケーブル
- クイック スタート ガイド
- ポインタ カード(中国の RoHS あり)
- テクニカル サポート連絡先
- EU Directive 1999/5/EC コンプライアンス情報 (EU SKU のみ)

1

作業を開始する前に

インストールを開始する前に、次の準備ができていることを確認してください。

- ネットワーク デバイス接続用のカテゴリ 5e 以上の RJ-45 イーサネット ケーブル。
- スイッチ管理用のコンソール ポートを使用するためのコンソール ケーブル。
- ハードウェア設置用の工具。スイッチに同梱されているラックマウント キットには、デスクトップ配置用のゴム製の脚 4 本、ラックマウント用ブラケット 2 つ、ネジ 12 本が含まれています。付属のネジを無くしてしまった場合は、次のサイズのネジを代わりに使用してください。
 - ネジ山の直径: 6.9 mm
 - ネジ山の表面から根元までの長さ: 5.9 mm
 - 軸径: 3.94 mm

- 壁面取り付け用キットにはネジとアンカーが含まれています。付属のネジを無くしてしまった場合は、次のサイズのネジを代わりに使用してください。
 - ネジ山の直径: **6.8 mm**
 - ネジ山の表面から根元までの長さ: **16 mm**
 - 軸径: **3.5 x 1.3 mm**
- **Web** ベースのインターフェイスまたはコンソールポートを使用してスイッチを管理するために、**Microsoft Internet Explorer** (バージョン **9.0**、**10.0**、**11.0**)、**Mozilla Firefox** (バージョン **51.0**、**52.0**、**53.0** 以降)、または **Google Chrome** (バージョン **56**、**57**、**58** 以降) が使えるコンピュータ。

2 Cisco 350 シリーズ スイッチのマウント

ご使用のスイッチによって、スイッチの設置方法は **2 ~ 3** 通りあります。

- 平らな面に設置する。スイッチを机の上に設置するには、スイッチの底に **4** 本のゴム製の脚(付属)を取り付けます。
- 標準規格のラック (高さ **1 U** を占有します) にマウントする。
- **350** シリーズのシスコ スイッチの多くには、デバイス底面に壁面マウント スロットが付いています。

配置のヒント

次のような条件がどれか当てはまる場所にはスイッチを設置しないでください。

- **周囲温度**: スイッチが過熱しないようにするため、周囲温度が **122 °F** (**50 °C**) を超える場所では動作させないでください。
- **エアフロー**: スイッチの周囲に十分なエアフローがあることを確認してください。
- **機械的荷重**: 危険な状況にならないように、スイッチは水平を保ち安定させてください。
- **回路の過負荷**: 電源コンセントにスイッチを追加接続することで、その回路に過負荷をかけることのないようにしてください。

ラックへのマウント

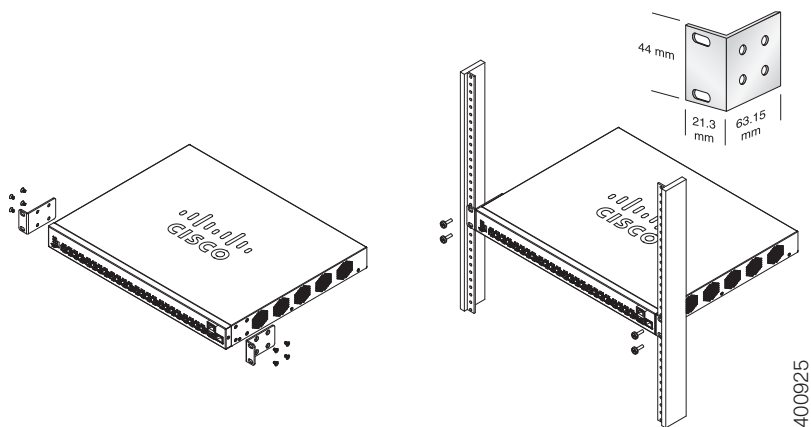
スイッチは標準サイズの **19 インチ** (約 **48 cm**) 幅のラックにマウントできます。スイッチには高さ **1 ラック ユニット (RU)**、すなわち **1.75 インチ (44.45 mm)** のスペースが必要です。



安定性を確保するために、最も重いデバイスから順に下から上へとラックに載せていきます。重いデバイスをラックの一番上に載せると、不安定になり、転倒する可能性があります。

スイッチを **19 インチ** の標準シャーシに取り付けます。

- 手順 1** 付属のブラケットの **1** つをスイッチの側面に据え、ブラケットの **4** つの穴がネジ穴と合うようにします。付属のネジを **4** 本使用して固定します。
- 手順 2** 前述の手順を繰り返して、スイッチの反対側に別のブラケットを取り付けます。
- 手順 3** ブラケットが確実に取り付けられたら、これでスイッチを標準の **19 インチ** ラックに設置することができます。



壁面への取り付け

350 シリーズのシスコ スイッチのほとんどには、デバイス底面に壁面マウント スロットが付いています。



不安定な取り付けを行うと、デバイスの損傷やけがを招く恐れがあります。シスコは、壁面または天井への不安定な取り付けによって生じた損傷について、いかなる責任も負いません。

スイッチを壁面に設置するには:

- 手順 1 デバイスを取り付ける場所を決めます。表面が滑らかで、平らであり、乾燥しており、頑丈であることを確認します。
- 手順 2 2つのパイロット穴を 94 mm 離して壁面上に開けます。
- 手順 3 各穴にネジを挿入し、表面とネジ山の根元との隙間は残しておきます。
- 手順 4 ネジがスイッチ底面のスロットにぴったりはまるまで、スイッチを上から下にスライドさせます。

3 ネットワーク デバイスの接続

スイッチをネットワークに接続するには、次の手順に従います。

- 手順 1 イーサネット ケーブルをコンピュータ、プリンタ、ネットワーク ストレージ、または他のネットワーク デバイスのイーサネット ポートに接続します。
- 手順 2 スイッチの番号付けされたイーサネット ポートの 1 つに、イーサネット ケーブルのもう一方の端を接続します。
接続がアクティブ状態の場合、イーサネット ポートがグリーンに点灯します。各スイッチのそれぞれのポートおよび LED の詳細については、「Cisco 350 シリーズ スイッチの機能」を参照してください。
- 手順 3 スイッチに接続したい各デバイスで、手順 1 と手順 2 を繰り返します。

注 すべてのポートには、カテゴリ 5e 以上のケーブルが必要です。ネットワーク デバイスを接続する際は、最大ケーブル配線距離 100 m (328 フィート) を超えないようにしてください。デバイスや LAN が接続されてから、動作可能になるまでに最大 1 分かかることがあります。これは予想される通常の動作です。

Power over Ethernet の考慮事項



スイッチは、設備外部へのルーティングは行われ^{ない} PoE ネットワークにのみ接続されるよう意図されています。

スイッチが Power over Ethernet (PoE) モデルのいずれかである場合は、次の所要電力を考慮してください。

Power Over Ethernet モデルの 350 シリーズ スイッチ

モデル	PoE 給電	PoE をサポートするポートの数	PoE 標準規格のサポート
SF352-08P	62 ワット	1-8	802.3af/at
SF352-08MP	128 ワット	1-8	802.3af/at
SF350-24P	185 ワット	1 ~ 24 *60 ワット PoE: ポート 1、2、13、14	802.3af/at 4 ペア PoE 対応
SF350-24MP	375 ワット	1 ~ 24 *60 ワット PoE: ポート 1、2、13、14	802.3af/at 4 ペア PoE 対応
SF350-48P	382 ワット	1 ~ 48 *60 ワット PoE: ポート 1、2、3、4、 25、26、27、28	802.3af/at 4 ペア PoE 対応
SF350-48MP	740 ワット	1 ~ 48 *60 ワット PoE: ポート 1、2、3、4、 25、26、27、28	802.3af/at 4 ペア PoE 対応
SG350-10P	62 ワット	1-8	802.3af/at
SG350-10MP	128 ワット	1-8	802.3af/at
SG355-10P	62 ワット	1-8	802.3af/at
SG350-28P	195 ワット	1 ~ 24 *60 ワット PoE: ポート 1、2、13、14	802.3af/at 4 ペア PoE 対応
SG350-28MP	382 ワット	1 ~ 24 *60 ワット PoE: ポート 1、2、13、14	802.3af/at 4 ペア PoE 対応

SG350-52P	375 ワット	1 ~ 48 *60 ワット PoE: ポート 1、2、3、4、 25、26、27、28	802.3af/at 4 ペア PoE 対応
SG350-52MP	740 ワット	1 ~ 48 *60 ワット PoE: ポート 1、2、3、4、 25、26、27、28	802.3af/at 4 ペア PoE 対応
SG350-8PD	124 ワット	1-8	802.3af/at

*60 ワット PoE は、IEEE Power over Ethernet Plus 標準規格を拡張し、ポートあたりの電力を 2 倍の 60 ワットまで増やします。



注意

PoE 供給能力のあるスイッチを接続するときには、次の点を考慮してください。

PoE モデルのスイッチは、接続先 PD (受電デバイス) に DC で給電可能な PSE (給電側機器) です。このようなデバイスには VoIP 電話機、IP カメラ、ワイヤレス アクセス ポイントが含まれます。

PoE スイッチは、先行標準のレガシー PoE 受電デバイスを検出して給電できます。レガシー PoE のサポートが原因で、PSE として動作する PoE スイッチが (他の PoE スイッチを含む) 接続先 PSE を誤ってレガシー PD として検出して給電する可能性があります。

PoE スイッチは PSE であるため AC で給電されるべきですが、誤検出により別の PSE からレガシー PD として給電される可能性があります。このような状態が発生した場合、PoE スイッチが正しく機能しない可能性があり、接続先 PD に正しく電力を供給できない場合があります。

誤検出を防ぐには、PSE への接続に使用される PoE スイッチ上のポートで PoE を無効にしてください。また、PSE デバイスを PoE スイッチに接続する前に、まず PSE デバイスに給電する必要があります。あるデバイスが PD として誤検出される場合には、そのデバイスを PoE ポートから切断し、AC 電源によって電力を再供給した後で、PoE ポートに再接続してください。

作業を開始する前に

本スイッチにアクセスして管理するには、**Web** ベースのインターフェイスを使用して IP ネットワーク経由で行う方法と、コンソール ポートを使用してスイッチのコマンドラインインターフェイスで行う方法の 2 つの方法があります。コンソール ポートを使用するには、ユーザに高度な知識が求められます。

スイッチを最初に設定するとき使用されるデフォルト設定は以下のとおりです。

パラメータ	デフォルト値
Username	cisco
Password	cisco
LAN IP	192.168.1.254

Web ベースのインターフェイスを使用したスイッチの設定

Web ベースのインターフェイスからスイッチにアクセスするには、スイッチが使用している IP アドレスを知る必要があります。スイッチは工場出荷時設定の IP アドレス **192.168.1.254** とサブネット /24 を使用します。

スイッチが工場出荷時設定の IP アドレスを使用している場合、システム LED は連続的に点滅します。スイッチが DHCP サーバから割り当てられた IP アドレスや管理者が設定したスタティック IP アドレスを使用している場合は、システム LED はグリーンが点灯した状態になります(デフォルトで DHCP は有効)。

注 ネットワーク接続を介してスイッチを管理している場合、DHCP サーバまたは手動でスイッチの IP アドレスを変更すると、スイッチへのアクセスが失われます。Web ベースのインターフェイスを使用するためには、スイッチが使用している新しい IP アドレスをブラウザに入力する必要があります。スイッチをコンソール ポート接続で管理している場合には、リンクは維持されます。

スイッチを Web ベースのインターフェイスを使用して設定するには、次の操作を実行します。

手順 1 コンピュータとスイッチの電源をオンにします。

手順 2 コンピュータを任意のネットワーク ポートに接続します。

手順 3 コンピュータの IP 構成を設定します。

- a. スイッチがデフォルトのスタティック IP アドレス **192.168.1.254/24** を使用している場合、コンピュータの IP アドレスに、**192.168.1.2 ~ 192.168.1.253** の範囲内で未使用の IP アドレスを選択する必要があります。

- b. IP アドレスが DHCP によって割り当てられる場合、DHCP サーバが実行中で、スイッチとコンピュータから接続可能であることを確認します。各デバイスが DHCP サーバから割り当てられた新しい IP アドレスを検出するために、デバイスを一旦切断して再接続することが必要な場合があります。

注 お使いのコンピュータで IP アドレスを変更する方法は、そのアーキテクチャやオペレーティング システムの種類によって異なります。お使いのコンピュータのヘルプとサポート機能を使用して「IP アドレスの設定」について検索してください。

手順 4 **Web** ブラウザ ウィンドウを開きます。デバイスに接続したときに、**ActiveX** プラグインをインストールするよう求められた場合は、指示に従ってプラグインのインストールを許可します。

手順 5 アドレスバーにスイッチの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。たとえば **http://192.168.1.254** です。

手順 6 ログイン ページが表示されたら、**Web** ベースのインターフェイスで使用する言語を選択して、ユーザ名とパスワードを入力します。

デフォルトのユーザ名は **cisco** です。デフォルトのパスワードは **cisco** です。ユーザ名とパスワードはどちらも大文字と小文字を区別します。

手順 7 [ログイン] をクリックします。

デフォルトのユーザ名とパスワードで初めてログインする場合、[パスワードの変更] ページが表示されます。新しいパスワード作成のルールがページに表示されます。

手順 8 新しいパスワードを入力して確認します。

注 パスワード複雑度は、デフォルトで有効になっています。パスワードは、デフォルトの複雑性ルールに準拠する必要があります。または、[パスワード強度の強制] オプションの横にある [無効] をオンにして一時的に無効にすることができます。

手順 9 [適用] をクリックします。



Web ベースのインターフェイスを終了する前に、[保存] アイコンをクリックして設定の変更内容を必ず保存してください。設定を保存する前に終了した場合、変更内容はすべて失われます。

[はじめに] ページが開きます。これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、『アドミニストレーションガイド』またはヘルプ ページを参照してください。

コンソールポートを使用したスイッチの設定

コンソールポートを使用してスイッチを設定するには、次の操作を実行します。

- 手順 1** 付属のコンソールケーブルを使用して、コンピュータをスイッチのコンソールポートに接続します。
- 手順 2** コンピュータの **HyperTerminal** などのコンソールポートユーティリティを実行します。
- 手順 3** 次のパラメータを使用してユーティリティを設定します。
- 115200 bits per second
 - 8 data bits
 - no parity
 - 1 stop bit
 - no flow control
- 手順 4** ユーザ名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザ名は **cisco**、デフォルトのパスワードは **cisco** です。ユーザ名とパスワードはどちらも大文字と小文字を区別します。

デフォルトのユーザ名とパスワードで初めてログインする場合、次のメッセージが表示されます。

```
Please change your password from the default
settings.Please change the password for better
protection of your network.Do you want to change
the password (Y/N) [Y]?
```

- 手順 5** **Y** と入力して、新しい管理者パスワードを設定します。

注 パスワード複雑度は、デフォルトで有効になっています。パスワードは、デフォルトの複雑性ルールを満たす必要があります。



注意

終了する前に、設定の変更内容が保存されたことを確認してください。

これで、スイッチを設定する準備が整いました。ご使用のスイッチの **CLI** ガイドを見つけるには、www.cisco.com/go/350switches を参照してください。

注 ネットワークで **DHCP** を使用していない場合、スイッチの **IP** アドレスのタイプをスタティックに設定し、スタティック **IP** アドレスおよびサブネットマスクを変更してネットワークトポロジに合わせてください。そうしないと、複数のスイッチが工場出荷時設定の同じ **IP** アドレス **192.168.1.254** を使用することになります。

この項では、スイッチに習熟するために、スイッチの外観について説明します。

製品モデル

モデル	説明
SF350-08	8 ポート 10/100 マネージドスイッチ
SF350-24	24 ポート 10/100 マネージドスイッチ
SF350-24MP	24 ポート 10/100 PoE 対応マネージドスイッチ
SF350-24P	24 ポート 10/100 PoE 対応マネージドスイッチ
SF350-48	48 ポート 10/100 マネージドスイッチ
SF350-48MP	48 ポート 10/100 PoE 対応マネージドスイッチ
SF350-48P	48 ポート 10/100 PoE 対応マネージドスイッチ
SF352-08	8 ポート 10/100 マネージドスイッチ
SF352-08MP	8 ポート 10/100 PoE 対応マネージドスイッチ
SF352-08P	8 ポート 10/100 PoE 対応マネージドスイッチ
SG350-10	10 ポート ギガビット マネージドスイッチ
SG350-10MP	10 ポート ギガビット PoE マネージドスイッチ
SG350-10P	10 ポート ギガビット PoE マネージドスイッチ
SG350-10SFP	10 ポート ギガビット マネージド SFP スイッチ
SG350-20	20 ポート ギガビット マネージドスイッチ
SG350-28	28 ポート ギガビット マネージドスイッチ
SG350-28MP	28 ポート ギガビット PoE マネージドスイッチ
SG350-28P	28 ポート ギガビット PoE マネージドスイッチ
SG350-28SFP	28 ポート ギガビット マネージド SFP スイッチ
SG350-52	52 ポート ギガビット マネージドスイッチ
SG350-52P	52 ポート ギガビット PoE マネージドスイッチ
SG350-52MP	52 ポート ギガビット PoE マネージドスイッチ
SG355-10P	10 ポート ギガビット PoE マネージドスイッチ
SG350-8PD	8 ポート 2.5 G POE マネージドスイッチ

前面パネル

ポート、LED、およびリセット ボタンは、以下の図に示すようにスイッチの前面パネルに配置されています。

SF350-48MP



SG350-8PD



SG355-10P



前面パネル ポート

USB ポート: USB ポートは、接続した USB デバイスを利用して、コンフィギュレーション ファイル、ファームウェア イメージ、および Syslog ファイルの保存と復元ができるようにするため、スイッチと USB デバイスを接続します。

RJ-45 イーサネット ポート: RJ-45 イーサネット ポートを使用して、コンピュータ、プリンタ、アクセス ポイントなどのネットワーク デバイスをスイッチに接続します。

Multigigabit Ethernet Ports: (青色で強調) これらのポートは Cat 5e ケーブルで 100 Mbps、1 Gbps、および 2.5 Gbps のスピードをサポートします。全世界で導入されているケーブルの多くは、100 m で 1 Gbps に制限されています。Cisco Multigigabit Ethernet により、ケーブルを交換しなくても、同じインフラストラクチャ上で最大 2.5 Gbps のスピードが可能になります。

60 ワット PoE ポート: (黄色で強調) 60 ワット PoE ポートは PoE 電源を 2 倍にし、60 W を給電します。

SFP ポート (存在する場合): Small Form-Factor Pluggable (SFP) ポートは、モジュール用の接続ポイントです。これらのポートを使用して、スイッチを他のスイッチとリンクさせることができます。これらのポートは一般に、ミニギガビット インターフェイス コンバータ (miniGBIC) ポートとも呼ばれます。このガイドでは SFP という用語を使います。

- いくつかの SFP インターフェイスがもう 1 つの RJ-45 ポートと共有されており、コンボ ポートとも呼ばれます。SFP がアクティブな場合、隣接した RJ-45 ポートは無効になります。
- 対応する RJ-45 ポートの LED は、SFP インターフェイスのトラフィックに応答するとグリーンで点灯します。

前面パネル LED

System: (グリーン) この LED はスイッチの電源がオンになると点灯し、ブート中、セルフテストの実行中、または IP アドレスの取得中は点滅します。LED がオレンジで点滅する場合、スイッチがハードウェア障害、ファームウェア障害、またはコンフィギュレーションファイルのエラーを検出しています。

LINK/ACT: (グリーン) 各ポートの左側に配置されています。この LED は、対応するポートと別のデバイス間のリンクが検出されると点灯し、ポートがトラフィックを渡している間は点滅します。

Gigabit: (グリーン) ポートの右側に配置されています。この LED は、別のデバイスがポートに接続されており、電源がオンになっており、かつデバイス間で 1000 Mbps のリンクが確立されているときに点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が 1000 Mbps を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

PoE(存在する場合): (オレンジ) ポートの右側に配置されています。この LED が点灯している場合、対応するポートに接続されたデバイスに電力が供給されていることを示します。

リセット ボタン

スイッチの前面パネルのリセットボタンの開口部に、ピンまたはペーパー クリップを挿入することにより、スイッチをリセットできます。詳細については、「[スイッチを工場出荷時設定に戻す](#)」を参照してください。

背面パネル

電源ポートおよびコンソール ポートは、スイッチの背面パネルに配置されています。背面パネルの外観は、この図とは異なる場合があります。ファンが搭載されているモデルでは、十分な空気循環を確保してください。



電源: スイッチを AC 電源に接続します。

コンソール: シリアル ケーブルをコンピュータのシリアル ポートに接続し、端末エミュレーションプログラムを使用して設定できるようにします。

リセット ボタンを使用して、スイッチを再起動またはリセットするには、次の手順に従います。

- スイッチを再起動するには、リセット ボタンを 10 秒未満押し続けます。
- スイッチを工場出荷時設定に復元するには、次の手順に従います。
 - ネットワークからスイッチを切断するか、ネットワーク上のすべての DHCP サーバを無効にします。
 - 電源を投入して、リセット ボタンを 10 秒以上押し続けます。

接続に関するトラブルシューティング

Web ベースのインターフェイスからスイッチにアクセスできない場合、スイッチはコンピュータから接続不能な状態になっている可能性があります。

Windows コンピュータの場合、ping を使用してネットワーク接続をテストすることができます。

手順 1 [スタート(Start)] > [ファイル名を指定して実行(Run)] を選択して **cmd** と入力し、コマンド ウィンドウを開きます。

手順 2 コマンド プロンプト ウィンドウで、**ping** に続けてスイッチの IP アドレスを入力します。たとえば、**ping 192.168.1.254** (スイッチのデフォルトのスタティック IP アドレス) のように指定します。

スイッチに接続可能な場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.254:bytes=32 time<1ms TTL=128
```

スイッチに接続できない場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

考えられる原因と解決策

スイッチの電源が入らない

- 電源コードがスイッチと電源コンセントの両方にしっかりと接続されていることを確認します。
- 電源コンセントがアクティブであることを確認します。
- コンピュータがオンになっていることを確認します。
- この状況が続くようであれば、スイッチを交換する前に、電源アダプタを交換します。

イーサネットの接続不良

- LED の表示が正常であるかどうかを確認します。詳細については、「[前面パネル](#)」を参照してください。
- イーサネット ケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- 別のイーサネット ケーブルまたはポートを使用します。

コンソールポートの接続不良

- コンソール ケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- コンソールポートユーティリティが正しいパラメータで設定されていることを確認します。

IP アドレッシングの問題

- シスコ スイッチには **Cisco FindIT Network Discovery Utility** でアクセスすることもできます。このユーティリティは、コンピュータと同じローカル ネットワーク セグメント内にあるすべての **Cisco Small Business** デバイスを自動的に検出します。問題を解決するには、このユーティリティを使用して現在の IP アドレスを含むデバイスの情報を確認する、デバイスの最新ファームウェアをダウンロードする、または製品設定ユーティリティを使用して設定を表示および構成するという方法があります。詳細については、www.cisco.com/go/findit を参照してください。
- スイッチの正しい IP アドレスを使用していることを確認します。コンソールポートの CLI または **Cisco FindIT** を使用するか、ネットワーク管理者に聞いて、スイッチの現在の IP アドレスを確認します。システム LED は、スイッチのどこで IP アドレス（詳細は[前面パネル](#)を参照）を受信したかを示します。
- 別のデバイスがスイッチと同じ IP アドレスを使用していないことを確認してください。

IP ルートがない

スイッチとコンピュータが異なる IP サブネットに存在する場合、2 つのサブネット間でパケットをルーティングするために、1 台以上のルータが必要になります。

アクセス時間が異常に長い

標準的なスパンニング ツリーのループ検出ロジックにより、新しい接続を追加すると、その影響を受けるインターフェイスや LAN が動作可能な状態になるまで **30 ~ 60 秒** かかる場合があります。

シスコ サポート コミュニティ	www.cisco.com/go/smallbizsupport [英語]
シスコ サポートとリソース	www.cisco.com/go/smallbizhelp
サポート連絡先電話番号	www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_small_business_support_center_contacts.html
シスコ ファームウェア ダウンロード	www.cisco.com/go/smallbizfirmware リンクを選択して、シスコ製品のファームウェアをダウンロードできます。ログインは不要です。
シスコ オープン ソース リクエスト	該当する無料/オープンソースライセンス (GNU Lesser/一般公的使用許諾など)の下で使用資格が与えられるソースコードのコピーを受け取るには、次の宛先にリクエストを送信してください。 externalopensource-requests@cisco.com リクエストには、製品のオープンソースマニュアルに記載されている、シスコ製品の名前、バージョン、18桁の参照番号(例: 7XEEX17D99-3X49X081)を明記してください。
Cisco Partner Central (パートナー ログインが必要です)	www.cisco.com/web/partners/sell/smb
製品マニュアル	
350 シリーズ	www.cisco.com/go/350switches
規制準拠および安全性に関する情報	www.cisco.com/en/US/docs/switches/lan/csb_switching_general/rcsi/Switch_RCSI.pdf
保証情報	www.cisco-warrantyfinder.com



この装置は、クラス A 製品です。この装置を家庭環境で使用すると電波干渉を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

米国本社

Cisco Systems, Inc.
www.cisco.com



シスコは世界各国 200 箇所以上にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、ファクス番号は当社の Web サイト
(www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

78-101211-01A0

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、次の URL からご確認ください。 www.cisco.com/go/trademarks 掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

© 2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.